

福祉のひろば

《スローガン・見守り、声かけ、身边に寄り添う真野学区!》

■2021年9月15日発行
■発行者
真野学区社会福祉協議会 広報部
(背景写真: 2019年の佐川の蕎麦畑)

ご挨拶

「近助」の ありがたさを実感する 「地域福祉」

真野学区社会福祉協議会 会長 井上俊生

■猛暑日が続いた今年の夏も、ようやく朝夕に秋の気配を感じる頃となりました。皆様には健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、コロナの感染拡大は、東京や大阪でまたも「緊急事態宣言」が発出され、滋賀県においても「8月27日から緊急事態宣言」が適応されるなど深刻な事態になっています。

■この2年間は感染防止のため、外出の楽しみ、家族や友達とのふれあいさえも自粛の日々を過ごしてきました。とりわけ、高齢者やお一人暮らしの方々には、「淋しさ」「孤独」に直面しながら、耐えていただいてきました。ある新聞の投書欄（川越市、男性81歳）

には、一人暮らしで誰とも話さない日もあるが、地区のサロンのお誘いに救われてきた。コロナ禍で今は中止されているが一日も早い再開を願います。「自助・共助・公助」に加え「近助」の大切さを実感したとの掲載がありました。正にコロナ禍の淋しさのなかで、「思いやり」のうれしさを述べられたものと思います。

■今こそ私たちは、人々の思いに寄り添う身近な団体として、見守り、声かけの活動から「近助」の大切さを実感できる地域福祉の充実を目指して参りたいと存じます。

■今後とも格別のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【今後の福祉活動(事業)】

*お元気ですか ~9月の友愛訪問~

■9月は敬老月間です。真野学区では、「敬老会」に代わるものとして88歳以上の在宅の方（今年は180名）に、ささやかな祝いの品ですがお届けしています。どんな贈り物がよいだろうかと予算内であれこれ吟味しながら選びました。今回は防災グッズとライト付き拡大鏡や可愛いハンカチに、手作りカードとメッセージを添えました。スタッフ一同喜んでいただけたら

との気持ちを込めて包装しました。今年は「いのちのバトン」の普及活動も兼ねて、福祉委員と民生委員児童委員が一軒一軒お届けします。



予想以上にコロナが長引き、生活が大きく変わってしまいました。福祉委員として皆さんと交流する機会がなく残念に思っております。そのような中でも日々心掛けていることがあります。
『私の明るい表情は人々を安心させる』という言葉の通り、心からの笑顔と暖かい一言をいつも忘れないということです。マスクをしていてもそれは伝わります。笑顔は自分も相手にも爽やかさを与えてくれます。笑顔の輪を広げていきましょう!

福祉委員 笠谷美保

笑顔の輪

〔随想〕



地域のつながりで、 防災を目指す

■コロナの感染が、落ち着きを見せ始めた6月12日、大津市社会福祉協議会の丸山忠司氏を講師に、民生委員児童委員と福祉委員の合同研修会を開催しました。真野は、琵琶湖西岸断層帯を始め、琵琶湖岸、真野川、丘陵部での土砂災害危険箇所等自然災害での被害リスクがある地域です。最近の地震、台風、線状降水帯による大規模水害等の災害は、過去の経験も生かされないほど大型化、極地化の傾向にあり、各地で甚大な被害が発生しています。今回の研修は、民児協の皆さんと社協が、真野学区の災害特性や、避難



所での高齢者、子ども、乳幼児、妊婦への迅速かつ適格な対応と取り組みについての研修でした。

■自治連合会、自治会、自主防災会、と地域住民が持てる役割と地域力を結集し、地域のつながりで防災に取り組むことは「安全・安心」のまちづくりの基本です。今回の研修は第一歩でありますが、私たちは、災害から住民の命と財産を守るために、今後も関係者と共に取り組んで参ります。

令和3年度役員・委員

真野学区社会福祉協議会

顧問	上田駒一郎	会計	岡本 新次
会長	井上 俊生	事務局長	川端 俊司
副会長	中村 星二	事務局員	西條 久代
副会長	尾木八重子	事務局員	今井真知子
副会長	瀬津 久雄		

真野学区福祉委員紹介

担当地区	委員名	担当地区	委員名
沢	中村 川端 善三	大野 村上 武史	野間 美鈴
	森 千鶴	大野 団地	本城美由紀
	川端 典子	山根 豊三	小林 妙子
	瀬津 紗子	岩佐 純治	石橋 恵子
	都 幸子	西川由加里	西川由加里
	西條 恭子	岡本 明佳	庄田 恵子
浜	岡本 明佳	家田 村山 恭美	中橋 清美
	村山 恭美	谷口 松井亜希子	日花万喜子
	谷口 松井亜希子	中村が丘 波田恵美子	有田 謙太
	松井亜希子	杉岡 久江	西山津矢子
東浦	北村 藤井真理子	駅西口 アトレ	笠谷 美保
	日置よし子	井上 千鶴	能口可奈枝
	井上 千鶴	馬場 一美	萩田 明
	馬場 一美	島田喜代子	中橋 穎介
北村	普門	レーカパレス	安井 昭
	早川 有里	佐川 宇野 真光	
普門	佐川 宇野 真光		
	宇野 真光		
佐川	佐川 宇野 真光		
	宇野 真光		

真野つ子サマー塾



日記帳にクレパスをひろげ、夏の海を紙一杯に描く子もいて、とても清涼感漂う良い雰囲気の中、初日をスタートしました。休憩をはさみ10時30分から11時50分は、楽しい科学。まずロケット（材料は洗剤と水）発射では、どつと大きな歓声が上がりました。また家庭にある調味料等を使った科学実験では、次々と色が変わる様子に、興味しんしんでした。



■2日目のポーセラーツは、白磁の食器にアイデアいっぱいにシールを貼ってオーナーの茶碗を作りました。

■3日目は、新聞紙で作ったボールを投げて景品を落とすお楽しみゲームをしました。自主学習後の気分転換に、思い切り投げ景品をゲットしていました。引き続き、防災のお話しを聞きました。とても良いお話しでしたが低学年の皆さんにはわかったかな？でもラストの防災クイズでは、市社協のマスコットキャラクター「ひまりん」の登場で会場は

一気に盛り上がり、どの子も一生懸命挑戦していました。

■4日目の最終日はミニミニ夏祭

り。当物、宝探し、魚釣り等模擬店コーナーを設置しました。欲しいものを手に入れるには、店の人とクイズ当てや計算に答えないとい簡単にもらえない仕組みでしたが、準備した景品はみるみる売り切れ、好奇心旺盛な子ども達の歓声と共に、4日間の真野つ子サマー塾を終えました。今回も、自主支援で小学校の先生方、学区各種団体の方々など、多くのボランティアの方々の協力で、各曜日ともに内容の詰まった有意義な事業となりました。

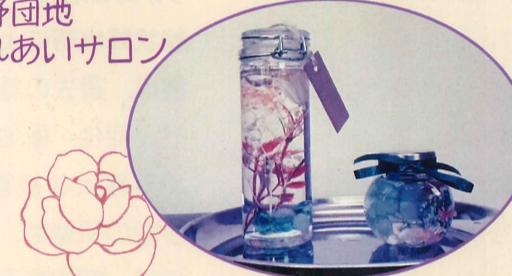


各地区のふれあいサロン

中村が丘団地 ふれあいサロン

■コロナ禍により、中止していた「ふれあいサロン」も喫茶の活動を再開しました。マスクの着用、体温の測定、アルコール消毒等の感染対策を講じながら、会館の扉も少し開けて換気をしての活動再開です。いつまでも若く健康でいたいのはみんな同じです。歳と共に身体が思うようにならないのが現実です。しかし、ふれあいサロンでは毎回集まつてもらった方たちの笑顔が明るく輝いています。

■「ふれあいサロン」では、たまにDVDで懐かしいメロディーを聞きながらお喋りに花が咲きます。また、テレビや新聞の話題にあがった話などで興味のあるものを「ああだ、こうだ」と時には冗談を交えながら話がはずみます。とにかく、明るい「ふれあい喫茶・中村が丘」は、会える回数が増えた分みんなが顔を揃えるだけでも、毎回、コーヒーとお茶をいただきながら、お喋りだけでも充分に盛り上がっています。



■6月20日、自治会館において19名の方に参加いただき「ハーバリウム作り」を行いました。福祉委員を講師に山野草のドライフラワー、100円ショップでバラ、ラベンダー、ジャスミン、アサガオ、小菊など色鮮やかなプリザーブドフラワーや染色された葉っぱ、貝殻、ビーズなどを購入し素材としました。いろんな形をしたボトルを自己の好みで選んでいただき、ハサミで素材の長さを調整しピンセットでボトルの中に構図、色調、バランスを考えながら入れていただきました。その後にハーバリウムオイルを注入し完成です。皆様は、それぞれのアイデアでオーナーの個性あるおしゃれな作品を作られ、窓際で花と光の調和を楽しんでおられました。

東浦うぐいす会



■7月7日にうぐいす会サロンを開催しました。前年度秋に再開したものの第3波の感染増で再度中止してきたものです。でも今回ワクチン接種2回目もそろそろいきわたってきたこともあり「まだお休みですか？」とご希望の声も寄せられ、コロナ対策を充分とりながら再開の運びとなりました。

■今回は、真野安心長寿相談所による「健康生き生き講座」を開きました。コロナ禍で自粛生活が長引き、日常生活で必要な機能の低下に早めに気づき改善との大切さをお話しくださいました。椅子に座ったままの運動や頭を使う手指体操など笑いの中に時間が過ぎました。

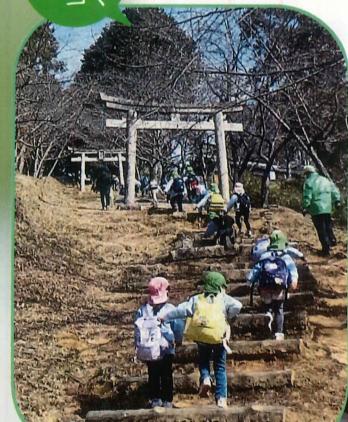
■8月からは、サロンの名前の「うぐいす」のように、歌のサロンを再開しています。マスク越しでも、楽しい会話ははずみます。コロナに負けずに月に一度のお出会いを大切にしていきたいものです。

お悩みごと、お困りごとは、お気軽にお近くの民生委員児童委員にご相談下さい。秘密は守ります。

真野地区民生委員

担当地区	委員名	電話
駅西口、グローバル	笠谷 美保	573-5677
中村(北側)、レークパレス	川端 一平	572-1878
大野、佐川	小林登久子	573-9131
東浦、浜(東、北側)ルモン	島 將二	090-1138-9363
中村(南側)	瀬津 久雄	572-1037
大野団地	中村 正夫	573-5892
谷口、中村が丘	野田 真肖	573-0912
沢、北村、サカエ、アトレ	濱本 久夫	572-2723
普門、家田	山本 實	573-4222
浜(西、南側)	和田 均	572-0857
真野地区全域(主任児童委員)	杉本加津美	572-2098
真野地区全域(主任児童委員)	向 奈津子	574-3842

活動の一コマ



真野地区民生委員児童委員協議会から

■昨年来より私たちは、体験したことのないコロナ禍で、あたり前にしていたことが大きく変化し、人と人との関わりも疎遠になっているように感じます。コロナ拡大により、働き場所を失ったり、食べられない等、生活苦から暴力やいじめが顕著に表れております。一日も早く、安らかな生活を取り戻したいものです。

■2月24日に真野幼稚園の誕生会に招かれ、南京玉すだれでお祝いをしました。また、3月4日にボカボカ陽気に誘われ久々に、子ども達とまんだら山へ出かけました。園児はみんな元気で大はしゃぎ、息も切らさず山頂へ、民生委員は青息吐息でした。

園児さんの誕生会に招かれ南京玉すだれを披露しました！



民生委員
児童委員と
まんだら山に
ミニ登山